



市民活動・ボランティア活動情報誌

2021年6月15日

No.199

# 福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

## 特集 地域の中で ゆるやかにつながり続ける



高齢者食事サービスりんどうの皆さん  
(4月14日撮影:東戸塚地域ケアプラザ)  
→詳しくは特集で

もくじ

p4 福祉の仕事 ピアスタッフ

p5 ボラセン情報 安心して横浜の空中散歩を楽しんでいただけるように

p6 市社協情報 第6回 よこはま地域福祉フォーラム開催します!

ここから最新号と  
バックナンバーを  
ご覧になれます



福祉よこはま 検索

# 地域の中で ゆるやかにつながり続ける

高齢者食事サービス  
「りんどう」

～つながり・支えあいの価値を見つめなおして～

コロナ禍でさまざまな活動が休止を余儀なくされています。そんな今だからこそ地域の中で営まれてきた活動にどのような目的や意味があったのか、つながり支えあうことの大切さを改めて見つめなおしてみませんか。地域の中でつながり続けることや思いを共有することの大切さ、再開に向けてのプロセスについて「りんどう」の活動を通して紹介します。

## 29年つづく地域に根付く支えあい

高齢者食事サービスりんどうは、戸塚区社会福祉協議会・東戸塚地域活動ビューロー（※1）主催講座「お弁当を配達してみませんか？」に参加したメンバーが中心となり発足。地域の高齢者と向き合っていく必要性を感じ、自分たちにできることを考え、配食活動を始めました。

### どんな活動をしているの？

- 週に1回お弁当をつくり、65歳以上の一人暮らしの方やご夫婦でも食事作りが困難な方などへ、安否確認も兼ねてご自宅に配達しています。
- 60代から80代までの方が参加し、配達後にはみんなで会食、レクリエーションをしながら親睦を深めています。（現在はコロナ感染予防のため会食は行っていません）



コロナ禍で  
活動終了の  
危機!?

コロナ禍で活動が休止。「利用者・担い手ともに高齢で感染の不安がある」「これまでの活動を続けていきたい」などさまざまな思いが交錯する中、存続するか終了するか、決断できない日々が続きました。

## 話し合いを重ね、活動再開へ。

活動再開への不安が大きい中、りんどうはお弁当の提供や配達だけでなく「**地域の見守り**」としての役割がある、利用者だけでなく「**自分たちにとっても必要な活動である**」など、それぞれの思いを口にするすることで、一人ひとりが活動の意味や目的を見つめ直し、どうすれば再開できるかに向けて話し合いが動き出しました。

### 話し合いの結果

- 誰か一人に負担が偏らないよう運営体制の見直しを行いました。その結果、新たに事務班・調理班・配達班の3つの班をつくり、各班に統括責任者を配置するなど、みんなで役割分担しながら活動できるようにしました。
- お弁当が配達できない期間は、自分たちが今できることを考え、見守りも兼ねて利用者宅を訪問しています。訪問時には、手紙を添えて花束や消毒液をプレゼントしました。

| 運営体制                                      |        |             |
|-------------------------------------------|--------|-------------|
| 事務班                                       | 調理班    | 配達班         |
| 当日の弁当数、参加ボランティアスタッフの人数把握、お弁当に添えるお便りの作成、会計 | お弁当の調理 | 利用者宅へお弁当を配達 |

新型コロナウイルス感染症の拡大に配慮し、調理場に立つボランティアメンバーの人数を制限したり、複数のスペースを使用するなど、三密を避けるよう調理場のレイアウトを見直しました。また、あわせて利用者へのヒヤリングをし、今年の4月7日、新たな体制で活動を再開しています。



※1 現 東戸塚地域ケアプラザ

メンバーの声より

## 活動の目的や意味、 つながり続ける理由

### 活動は生活の一部「自分のために」

- 活動休止期間を経て、改めて自分自身にとって大事な活動だと気づきました。
- 毎週水曜日の活動が生活のリズムになっています。



▲調理班メンバーの皆さん

### 利用者さんとのかわり

- 「お弁当の配達を楽しみにしています」「配達して下さる方とのちょっとした会話を楽しみます」など利用者さんからの感謝の言葉が励みになっています。
- 利用者さんに教えられ、学ぶことのほうが多いです。
- 担い手から配達してもらう側になった方もいますが、活動を通して今もつながっています。

### 見守り、気づき、つないでいく

- 週に1回お会いしているからこそ、お弁当の配達を通じてちょっとした変化に気づくことができ、何か気になることがあれば、ご家族やケアプラザにつなげるようにしています。
- ほとんどのメンバーが認知症サポーター養成講座を受けています。認知症により予定を忘れがちな方には配達前に電話をかけたりと一人ひとりに寄り添いながら活動しています。



▲事務班・配達班メンバーの皆さんと地域ケアプラザ職員

### 力をぬいて、ホッとできる居場所

- 居心地が良く、ゆるやかな雰囲気があるので活動を長く続けられています。
- 休みたい時は、みんなが協力してフォローしているので、無理なく安心して続けていけます。

利用者宅へお弁当を配達



りんどうの  
お弁当の味は、  
〇〇さんち風



お弁当に添える手紙  
“りんどうだより”



## 一人ひとりの想いに寄り添う地域ケアプラザ ～場づくりに込めた想い～

前代表のりんどうへの想いを受けて、存続するにしてもやめるにしても、皆さんが納得して進められるよう、それぞれの想いを語れる場を大切にしました。活動の再開に向けて一歩踏み出したのは、「りんどうが好き」「活動を存続させたい」という皆さんの想いの力です。私たちはその想いに寄り添い続けることを大切にしています。りんどうは、地域の宝であり、利用者さんにもメンバーにとってもなくてはならない活動です。

話し合いの中では、皆さんの想いを分かりやすく「見える化」し、すでに活動を再開している他団体の情報や取組の工夫など、状況に応じて必要な材料を提供してきました。



東戸塚地域ケアプラザ・生活支援コーディネーター岩崎さん(左)・地域活動交流コーディネーター矢濱さん(右) ▶



## ピアスタッフ

障害福祉サービス事業所  
森の庭(就労継続支援事業所B型)で  
ピアスタッフとして働く

ほり あい けん じ ろう  
**堀合 研二郎さん** に聞きました

利用者の声を代弁する立場で、  
利用者本位の運営ができるように  
働きかけていくことを大事にしています。

### この仕事を始めたきっかけ

- ▶ 当時、兄が働いていた施設を訪れたところ、施設長に声をかけていただいたのがきっかけです。職員や利用者さんが温かく迎え入れてくれ、仕事上においても職員と利用者さんの分け隔てなく働ける様子や作業後も利用者さんが夕方まで残っておしゃべりしている和やかな雰囲気がとても気に入りました。利用者として2年間働き、現在はピアスタッフの職員として働いています。

### 日々の仕事

- ▶ 森の庭の活動の一つであるクッキーやパウンドケーキなどの焼き菓子の製造販売管理や商品・パッケージ開発をしています。また、目標工賃達成指導員という役割があり、利用者さんの工賃アップを目指して、販路拡大にも取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、不安がある利用者さんには、自宅でも安心して内職作業ができるよう配慮し、希望する方には作業前後に電話連絡を入れるなどフォローもしています。

### 心がけていること

- ▶ 良い意味で手を抜くことです。利用者さんの中には、仕事に真面目なあまり体調を崩してしまう方も少なくありません。自分自身も含め、手を抜くことを心掛け、利用者さんにも積極的にお伝えしています。一人で抱え込まない、気軽に相談できるよう配慮し、皆さんが無理なく仕事を続けられることを大事にしています。

### 喜び、やりがい

- ▶ 当初は、利用者として働き始めたのでピアスタッフの職員になれたことが嬉しかったです。利用者としての経験があるからこそ、自分事として、利用者さんの工賃を上げていきたいという思いがあり、やりがいに繋がっています。仕事を通して新たな出会いは広がり、さまざまな方に「森の庭」を知っていただく機会が増え、働けば働くほど元気になっています。

### ピアスタッフとは

障害当事者である職員。自分自身の経験や知識を基盤として、当事者と同じ目線で接し、寄り添うことができます。

### 森の庭(就労継続支援事業所B型)

心に障害のある人の自立と社会参加を図ることを目的として、焼き菓子の製造販売などの創作・生産活動を行っています。製品は上大岡駅や磯子区役所、磯子区内病院のほか、ネットショップでも販売しています。

#### ●森の庭オンラインショップ

<https://morinoniwa.shop-pro.jp/>



お勧めは  
パウンドケーキ、  
とても美味しいです！

### 就労継続支援事業所とは

企業などへの就労が困難な障害のある方に、創作的活動や就労・生産活動の機会提供、社会との交流を促進するとともに、一人ひとりに必要な支援を行います。雇用契約を結び利用するものを「A型」、雇用契約を結ばないものを「B型」といいます。



昨年度の緊急事態宣言中は、  
駅や役所などでの販売機会が  
減少しました。

### 事業所の自主製品はこちらでも購入できます！

#### ●ハートメイド

障害のある方たちが制作している自主製品の統一ブランド。市内各所で展示販売や通信販売用カタログの配布を行う他、ホームページからも購入することができます。

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/hanro/index.html>

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター  
ハートメイド担当 ☎045-681-1131

#### ●よこはま障害者共同受注総合センターわーくる

企業や行政等からの作業や商品の発注を障害者施設等へコーディネートします。

【問合せ】わーくる担当 ☎045-306-9910



◆ この記事に関するお問合せは ……………  
横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎ 045-201-2090

横浜市内の  
福祉人材に  
関する  
求人情報 ➡



ウェルじゃん  
求人情報



横浜市  
介護人材情報

## 企業の福祉啓発研修

## 安心して横浜の空中散歩を楽しんでいただけるように



せんよう

## 泉陽興業株式会社「ヨコハマエアキャビン」事業所スタッフへの講義・実技研修

令和3年4月に開業した日本初の都市型ロープウェイ「ヨコハマエアキャビン(以下エアキャビン)」を運行する泉陽興業株式会社様から、様々なハンディを持っている方にも安全に、安心して横浜の空中散歩を楽しんでもらいたいとの相談をいただきました。横浜市ボランティアセンターで講師のコーディネートをし、チケット売り場やロープウェイ乗降場所のスタッフを対象に、障害理解などの講義、車いす利用者や視覚障害のある方を誘導する実技研修を行いました。

講師 横浜市総合リハビリテーションセンター(以下リハセンター)

## 講義 様々な障害への理解

身体障害をはじめ、知的障害や精神障害の各障害(特性、配慮すべきことなど)について理解を深めました。

参加者からどのように声をかけて誘導をしたらよいかなどについて質問があり、講師が答える形で学びました。



## 実技研修 車いすの介助、視覚障害のある方への介助

前半

車いすの介助方法を学んだ後、車いすでエアキャビンを乗降し、段差のあるところなどでの介助時の留意点を確認しました。

後半

視覚障害のある方への誘導方法を学びました。疑似体験ゴーグルをつけた介助される役と介助役になり、チケット売り場への案内や、エアキャビンまで誘導後の乗り降りをサポートする動きについても確認しました。



## インタビューしました!

## 研修をしてみていかがでしたか?

## 泉陽興業

様々な方が観光地や、レジャー施設を訪れます。エアキャビンに限らず、安心・安全に楽しんでいただくために、利用する方の状況に応じた対応ができるようスタッフの育成を充実させたいと考えています。

## 事業所スタッフ

車いすを利用する方や視覚障害のある方のご案内は奥が深く、自分の人生にも活かせる貴重な体験でした。エアキャビンに、また乗ってみたいとお客様に思っていただけ、努力を続けます。

## リハセンター

エアキャビンでの介助方法は私たちにも発見があり、現場体験の大切さを改めて感じました。

研修開催には実施企業の協力が欠かせません。今回は車いす介助と視覚障害についての研修でしたが、ほかの障害や高齢者への対応についても理解を深めて、社会の受け入れ体制の充実につなげていただけたらうれしいです。

大切なのは  
相手を気づかうコミュニケーション!

安心安全に  
楽しんで  
いただきたい

より良い  
おもてなしを  
したい

障害のある方の  
立場で考えて  
みよう



泉陽興業



スタッフ



リハセンター

## 横浜市ボランティアセンターより

横浜市ボランティアセンターでは誰もが安心して自分らしく暮らせる地域を目指すため、企業の皆さまからの障害理解や福祉啓発に関する研修のご相談を受け付けています。ホームページでは企業の皆さま向け研修プログラムを掲載しています。お気軽にご相談ください。

この記事や  
ボランティアに関する  
お問合せはこちら

横浜市ボランティアセンター

☎045-201-8620

ホームページはこちら ➡



第6回

## よこはま地域福祉フォーラム 開催します!

リスタート  
変わりゆく日常でも よりそえるまちへ ~つながり、再始動~

YouTubeによる  
録画配信

新型コロナウイルス感染症は私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、多くの活動が中止を余儀なくされました。こうした中、市内の各地では、不安や葛藤を抱えながらもさまざまな創意工夫のもと今できる形で活動を再開したり、新たなつながりから課題に向き合ったりと、少しずつ地域活動が広がりはじめています。

本フォーラムを通じて地域でこれまで営まれてきた地域活動やつながりの意味を見つめなおし、これからも寄り添い支えあえる地域づくりを一緒に考えていきましょう。

配信期間 令和3年9月24日(金)~12月24日(金)

開催方法 YouTubeによる録画配信

内 容 〈基調講演〉「つながり続ける地域づくりのために」

講師:東京都立大学 准教授 室田 信一 氏

〈分科会〉このまちで、つながりつづける など2分科会

基調講演講師▶  
室田 信一 氏



【申込み・問合せ】

横浜市社会福祉協議会 企画部

☎ 045-201-2090

詳細は  
こちらから▶



## みんなのきもち あいがとう

みなさまからお寄せいただいたご寄付は、地域の助けあい、支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。

### ご寄付いただきました(福祉基金) 横浜信用金庫 様

昨年12月に横浜信用金庫様からご寄付をいただき、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける「ひとり親世帯」など、困窮する方への食支援の取組に活用させていただきました。ヨコ食ハッピーギフトを受け取ったみなさんからのメッセージをご紹介します。

#### ヨコ食ハッピーギフト for ひとり親家庭

時期 令和3年2月

内容 コロナの影響等により食の支援を希望する425世帯にお米券等をお届けしました

共催 横浜市母子寡婦福祉会

〈ホームページ〉  
「母子寡婦福祉会」はこちらから



#### ヨコ食ハッピーギフト for 一人暮らし女性

時期 令和3年3月

内容 「国際女性デー(3月8日)」にあわせて、コロナの影響等により食の支援を希望する一人暮らし女性1,000人にお米券等をお届けしました

共催 横浜市男女共同参画推進協会



〈ホームページ〉「《コロナ下》女性のしごとと暮らし 電話相談」はこちらから

### ありがとうメッセージ

白米が大好きな4才の息子が  
「おにぎりたくさん食べられるね。  
シャケたくさんいれてね」と  
とても喜んでいました。

成長期の子どもの大喜びで、  
「ごはんたくさん食べられるね!  
お手伝いするね!」と  
笑顔でいっぱいです。

誰かが見てくれている、  
一人じゃないという  
気持ちになり、とても元気を  
いただきました。

ご寄付をいただき、  
ありがとう  
ございました!!

ありそうでなかった  
单身女性に向けての支援、  
大変ありがたかったです。



詳細は  
こちらから  
ご覧ください。



横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています。  
☎ 045-201-8620

## 寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 令和3年1月1日~3月31日受付分

### 善意銀行 金銭寄付者

- MHIパワーエンジニアリング 株式会社 横浜統括部
- 株式会社 ベルク フォルテ森永橋店 お客様一同
- 一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前 茂
- 横浜市社会福祉センター利用者一同
- 土志田建設 株式会社

### 善意銀行 物品寄付者

- 株式会社 NB建設
- 相鉄グループ CSR 推進事務局
- 相模鉄道 株式会社
- 相鉄バス 株式会社
- 相鉄ステーションリテール 株式会社
- 相鉄ローゼン 株式会社
- 株式会社 葉山ボンジュール
- 相栄フーズ 株式会社
- 相鉄不動産 株式会社
- 相鉄不動産販売 株式会社
- 株式会社 相鉄リビングサポート
- 株式会社 相鉄アーバンクリエイツ
- 横浜ベシエルトン ホテル&タワーズ

- 株式会社 相鉄ホテルマネジメント
- 株式会社 相鉄ホテル開発
- 相鉄企業 株式会社
- 横浜熱供給 株式会社
- 株式会社 相鉄ビューウォーター
- 相鉄ビジネスサービス 株式会社
- 相鉄ホールディングス 株式会社
- 株式会社 インフィニティー
- 田村 昭
- NTTテクノクロス 株式会社
- JXアイティソリューション 株式会社
- 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 塚本 隆史

### よこはま あいあい基金寄付者

- 宗教法人 世界平和統一家庭連合横浜家庭教会

### 障害者年記念基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- 株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子

### 福祉基金寄付者

- 横浜幸銀信用組合
- 匿名 (5件)

### ヨコハマ寄付本寄付者

- サンシティみなとみらいEAST
- 横浜市瀬谷区社会福祉協議会
- いづみの会
- 株式会社 ニューフレアテクノロジー
- 横浜移動サービス協議会
- 横浜市港南区社会福祉協議会
- 老人福祉センター 横浜市野毛山荘
- 株式会社 三菱UFJ銀行
- 横浜市麦田地域ケアプラザ
- 横浜市旭区社会福祉協議会
- 横浜市篠原地域ケアプラザ
- 匿名 (42件)

※寄付者については、  
横浜市ボランティアセンターの  
ホームページでも掲載させて  
いただいています。



# みんなの声



## 前号の感想

市民のために福祉・ボランティアさんが多くの縁の下で力持ちはなってくださっているのを情報誌で知りました。言語聴覚士の仕事を知りました。老若の世代の問題で幅広い領域で活躍されているのには頭がさがります。今後期待いたします。

(磯子区 N.Y)

後藤さんの写真どれも皆温か味があり、希望に満ちあふれているように気持ちがほっこりしました。今後のご活躍期待します。

(磯子区 Y.M)

ママフォトグラファーの後藤さんの撮った写真が、とてもよかったです。これからも、活動が続いていてほしいなと思いました。“幸せ”を感じました。

(保土ケ谷区 F.N)

点訳ボランティアグループ「インテグラル」の記事を読みました。根気のいる作業で、知識のフル活用だと感じました。頭の下がるおもいです。視覚に障がいのある方にとって、点訳を通して知識を得ることはとても大切だと感じました。

(磯子区 Y.F)

「多様性」はとてつもなく広い意味があり、分かりにくいところがありますが、フォトグラファーの後藤さんの活動を通して「日常の中にある幸せのカタチ」が写しだされ、共感を感じました。写真に写っている皆さんの笑顔に私も幸せを感じました。

(泉区 フーミン)

「言語聴覚士」(ST)を初めて知り、興味を持ちました。趣味で手話コーラスを続けて30年余り…。そのスキルを利用して、ろうあの中学生、高校生に手話で数学、英語を教えています。彼らに手話を教えてもらうことも多いです。フフフ…「福よこ」を通じて、世の中の縁の下で力持ちは皆様の活動を知ることができ、感謝です!!

(港南区 五十嵐 節子)

## 福よこクイズ

ご応募・ご感想  
お待ちしております!

### 「青桐茶房 お弁当袋」プレゼント!

人気のお弁当袋。裏地も可愛いです。

青桐茶房(神奈川区)は、精神に障害がある方が通う地域活動支援センターです。布製品とお菓子を作っており、店頭にて販売も行っています。布製品は布地を少しずつ仕入れて、作り手が自由に組み合わせているので、同じ組み合わせの商品が作られる事は少なく、ほぼ一点物です。お弁当袋はマジックテープと紐の両方で留める仕様になっています。

〈ホームページ〉<https://seito-sabou.com/>



色はお任せください

- Q1** 特集:高齢者食事サービス〇〇〇〇は、東戸塚地域ケアプラザを拠点に活動するグループです。(ひらがな4文字)
- Q2** 福祉の仕事:今回インタビューした堀合さんは、〇〇スタッフとして活躍しています。(カタカナ2文字)
- Q3** 市社協情報:第〇回よこはま地域フォーラムは、「変わりゆく日常でもよりよえるまちへ」をテーマとして開催されます。(数字1文字)

## 応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右記をご記入のうえお送りください。

抽選で**15名**の方に  
**プレゼント**を差し上げます。

**締め切り:**  
**令和3年7月30日(金) 必着**

### 【応募先】

〒231-8482  
横浜市中区桜木町1-1

横浜市社協  
「福よこクイズ」係

FAX: 045-201-8385

Eメール: [fukuyoko@yokohamashakyo.jp](mailto:fukuyoko@yokohamashakyo.jp)

### 【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

### 【項目】

- 1) Q1~3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



前号198号の福よこクイズの答えは、Q1: 幸せ Q2: ST Q3: よこはま でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域活動やボランティア活動が休止や延期を余儀なくされています。そのような状況の中でも、これまでの活動を見直したり、さまざまな工夫や取組をすることで、新しい発見があるかもしれません。今回の取材で、地域の中でゆるやかにつながり続けること、思いを共有すること、つながり支え合うことの大切さを改めて感じました。

次号 ▶ No.200 令和3年9月 発行予定

〈発行〉  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会  
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
☎045-201-2090  
FAX: 045-201-8385  
Eメール: [fukuyoko@yokohamashakyo.jp](mailto:fukuyoko@yokohamashakyo.jp)  
URL: <http://www.yokohamashakyo.jp>

〈デザイン〉  
株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



ほじ、  
おこはま、  
あったかい

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

## 広告

シニア世代の **働きたい** を応援します!

## 会員大募集

**働きたい人 集まれ!!**

出張仕事相談会

多数の求人情報が掲載されています

5月17日(月) 6月16日(水)  
7月21日(水) 8月18日(水)  
9月15日(水) 10月19日(火)

開催時間 10:00~15:00

開催場所 新都市プラザ

そごう横浜店 地下2階 正面入口前

## 充実したセカンドライフ

みなさまの「働く・学ぶ・参加する」を支援します

## 会員登録無料

### 選べる会員登録

- ◆来所して登録
- ◆ホームページからオンラインで登録

### 入会条件

- ◆横浜市内在住の概ね60歳以上の方
- ◆お仕事・仲間づくり・社会参加したい方

〒233-0002 横浜港南区上大岡西1-6-1 オフィスタワー13階

横浜シルバー

検索

公益財団法人

横浜市シルバー人材センター

TEL: 045-847-1800



令和3年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

# 全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



## 保険金額・年間保険料（1名あたり）

| 保険金の種類  |                  | プラン    | 基本プラン | 天災・地震補償プラン   |
|---------|------------------|--------|-------|--------------|
| ケガの補償   | 死亡保険金            |        |       | 1,040万円      |
|         | 後遺障害保険金          |        |       | 1,040万円（限度額） |
|         | 入院保険金日額          |        |       | 6,500円       |
|         | 手術保険金            | 入院中の手術 |       | 65,000円      |
|         |                  | 外来の手術  |       | 32,500円      |
|         | 通院保険金日額          |        |       | 4,000円       |
| 賠償責任の補償 | 地震・噴火・津波による死傷    |        | ×     | ○            |
|         | 賠償責任保険金（対人・対物共通） |        |       | 5億円（限度額）     |
| 年間保険料   |                  |        | 350円  | 500円         |

商品パンフレットは  
コチラ



（ふくしの保険  
ホームページ）

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

## ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

## 送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故など  
によるケガを補償！

## 福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中の  
ケガや賠償責任を補償！

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。